

平成25年度 第2回 豊田市子ども読書活動推進協議会会議録

1 開催日 平成26年 2月5日 (水) 午後3時25分～午後4時

2 場所 豊田市中心図書館 7階会議室

3 出席者

豊田市子ども読書活動推進協議会委員 7名

豊田市中心図書館職員 (事務局) 7名

(欠席者)

豊田市子ども読書活動推進協議会委員 2名

豊田市関係課

学校教育課
生涯学習課
子ども家庭課
保育課
次世代育成課

会議の内容（発言の要旨）及び進行記録

1 開 会

2 図書館長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議題 第2次豊田市子ども読書活動推進計画の実施状況について

事務局《別添 指針に基づき説明》

委員

指針1の3「こども図書室の充実と将来の方向性の検討」のところですが、後押し
いただいて、ハードの面で改善されました。来館された方にも「すごくきれいになり
ましたね。」とか「案内するときに分かりやすくなった。」と言われますので、お礼を
申し上げさせていただきます。これからボランティアもこれに負けないようにがんば
りますのでよろしくお願いします。

委員

この計画は3年ごとに見直しをするということでもよしかったでしょうか。例えば、
今ここに書かれていないことを見直したときに書き加えられたり、修正されたりして
次の計画案が出されるということでしょうか。

事務局

6年間の計画ですので、3年過ぎたところで見直しということで、今2年目が終わ
ろうとしています。予定では来年の2回目の会議で見直し案をお示しし、次の年の第
1回目の段階で具体的に説明させていただきます。

委員

読み聞かせボランティアという表現がたくさん出てきますが、図書ボランティアと
いう言葉はここには載っていない段階なので、この先図書ボランティアを把握されて
取りまとめができるような方向になれば、この計画案の中にも図書ボランティアとい
う位置付けや、取り組みなども入っていくといいと感じました。

会長

この件について、いかがでしょうか。

事務局

来年度に調査させていただき、どういう形で組織的な動きができるかというところで、ここに載せるとなると、ある程度全域で動けないと載せられない部分であり、組織としてやれる段階で、市の計画としてやらせていただければと思います。状況次第でとお考えいただければと思います。

会長

来年度1年かけてデータを整理して、結果をみるということですね。

事務局

はい。

委員

関連して、図書ボランティアと言ったときに、本の修理と言いますか、そうしたことを専門にしているボランティアというのが豊川の図書館にあります。その人たちは、男性の高齢者の方たちが何人か専門で入っていらっしゃいます。

読み聞かせは苦手だけど、本の修理でしたら得意という方がみえますので、そういう図書館に係わるボランティアの質と言いますか、内容も多様性が出てきた方がいいと思います。

事務局

呼び方については、分かりやすい形にしていった方がいいと思います。今は読み聞かせとか点訳、音訳、製本といろいろな方がおみえになります。交流館でやっていただけの方についての呼称をどうするかは、相談させていただいた方がいいかと思います。

学校教育課

学校図書館の支援として、豊田市はかなり手厚くやっただいただいていると思います。特にP3の10の「団体貸出の充実」について、今年度も新しい団体を作って支援していただいています。

学校図書館の資料も学校図書館で徐々に充実させる方向で、職員や司書ががんばっていますが、今は学校の方で探求型の資料とか、読書を広げていく授業が大事になっています。資料を充実させることは大事ですが、すぐには無理ということで、中央図書館の団体貸出の充実は大変ありがたいと思っています。

事務局

団体貸出のところの予算を見ていただきたいのですが、資料購入費が20万円と入っていますが、予算額なので資料担当と調整をさせていただき、もう少し団体貸出用へ予算を調整しました。

会長

「教育センターにポプラディアを置き」と、P3の11の項目にあります。これはどういう現状でしょうか。

学校教育課

ポプラディアを学校の調べ学習で使うことがあります。ポプラディアは1セット10万円と高額ですので、何セットも一つの学校にあることはないですが、授業の中で図鑑の調べ方をやるときにも、子どもたちにたくさん本があつて、手元で実際に索引を開いたりという活動ができるといいものです。教育センターで6セットポプラディアを用意しています。例えば、この時期に3セット学校に貸して下さいと先生や司書から申し出があつた時にお貸ししています。

会長

前の会議で話のあつたP7の29の「テレビを消して本を語ろう」の日についてですが、ここで情報交換して知名度アップできるような気がしますので、現状と、学校と図書館のつながりとか、生涯学習とのつながりがあるようですので話題にさせていただけるといいかなと思います。

副館長

まだどちらかという図書館が中心となつてやっているところで、市の他部署に広げるところまで至っていません。キャラクターを出して図書館のPRをしていくわけですが、今日この機会に担当課におきましてもご協力いただきたいと思います。

委員

公共図書館に学校の先生が入っているところがありますが、先回、豊田中央図書館の先生に来ていただいて、豊田の実情を公表していただきました。はっきり言って愛知県で豊田は先進地と皆が理解したところです。実はその枠の中に入っている方は、外側から見ないから客観的に良いとか悪いとかじゃなくて、私は今岡崎に住んでいますが、恥ずかしながらとても遅れているレベルでなくて、本当に後進市になっていると思います。

豊田は学校図書館と公共図書館を結んでいらして、ポプラディアは高価なわけです。各学校で揃えるのは無理で、ましてや調べ学習で1セットじゃなくて何セットか欲しい時に、先ほど3セット渡せるとおっしゃっていましたが、学校図書館の学校司書がいて、司書がいるだけでは週1回だからなかなか束ねることができない訳です。そういう司書を束ねながら、しかも公共図書館の枠の中に入らっしゃりながらその予算をどのように配分するというのをやってみて、とてもすばらしい行政を豊田はやっていることを再確認させていただきました。

家庭の読書といった時に、親たちにどのような啓蒙をしていくかということになると、お母さんが子どもに本を読んであげた簡単な経験談を語る文集みたいなものとお母さんに読んでもらって、それによって自分が本を好きになつたという子どもの感

想文みたいな、今ここで、絵本のコンクールとか、先ほど発表していただきましたが、家読（うちどく）でしょうか、家庭でやっている経験をちょっとした文集にしながらどんな本を読んだかという簡単な冊子があればと。一人ずつに配られなくても、図書館とかPTAの目につくところに置いていただくと、それを見ることによって、家でもこうして本を読んであげられたらこうなるんだなど、実践例が見えてくるとやりやすいと思います。今後の取り組みで、お金のかかることを言っているようですが、良い方法を考えていただけるといいかなと思います。

同じようなことで、ブックスタートで本を配られることによって、お母さんが、今まで0歳の子どもにいいのかどうか分からなかったけど、それをもらうことにより、親子で読める形ができてくると、みんなブックスタートってこんなにいいものだと思いますので、企画の中でお願いできたらと思います。

委員

1歳や2～3ヶ月の子どもたちに読み聞かせやお話しをして、乳児の反応はどうですか？

子ども家庭課

検診でブックスタートボランティアの方にご協力いただいています、全対象の赤ちゃんに読み聞かせをしていただいています、3・4ヶ月になると内容はわからないですけど、絵本に注目したり、絵本を介してお母さんの反応を見てみると、赤ちゃんなりの反応もあります。ブックスタートとは別になりますが、中学生と赤ちゃんのふれあい体験でも、参加する赤ちゃんが1歳未満を対象に行っていますが、お母さん以外の人との関わりが生まれたり、絵本を介して新しいコミュニケーションが生まれるので、絵本っていいねと、お母さんも思ってもらえます。参加してくれた中学生もいいなと感じていただいて、絵本の良さを伝えるためには良い場だと思います。

委員

こども園では、金曜日に園の本を借りていきまして、お母さんも仕事してる方もいますので、土日にかけて絵本を読んでいただいて月曜日に返すということを毎週やっています。必ずお母さんに読んでもらおうねってことにしていて、少しの時間をお母さんに作っていただいて、ひざの上で本をいっしょに読もうということをやっています。

去年は絵本の講演会をお母さん方に来ていただきましたが、絵本のことを話していただく中で、お母さんも感動されて、涙する方もいらっしゃいましたけど、絵本を読み続けていき、子どもたちが絵本を大好きになっていくことで、小学校になった時につながっていくと良いと思います。

学校教育課

学校では、朝読書の時間をとるところもありますし、学校に読み聞かせボランティアが来て、週2回とか時間をとって子どもたちに読み聞かせをしてくれるところもあ

ります。子どももそれを楽しみにしています。

ボランティアの支援で、中央図書館で読み聞かせボランティアの講座をやっていた
だいていて、中央図書館で開くだけでなく、学校に出向いていただいでボランティア
に講座を持っていただいでいることもあり、学校にとってはありがたいことです。

会長

他になれば意見交換で、子どもの読書活動の推進についてご意見、ご質問があり
ましたら自由に意見交換したいと思います。

5 意見交換

委員

豊田市は赤ちゃん絵本や、ブックスタートとか読み聞かせとか、小さいお子さん
に対する本に親しむ機会が充実していると思います。ボランティアもたくさんみえて心
強い限りで、こうした子育てをしていけば、読書に親しむ子どもが成長すると期待し
ています。ただ、読み聞かせで育った子どもたちが、今度は自分の力で読書するところ
への橋渡しが機能していきづらい部分だと思います。

家庭ではどうかと思ったときに、スマホの時代になり、本に関心を持たないような
小中学生にだんだん移行していくのは非常に悲しい。せつかく絵本を通して本の魅力
を知った子どもたちを、何とか読書につながりを持たせるようにするようなことを大
人が考えていかなければなりません。自分の家庭のことを言いますと、本を借りてく
る、本を読む大人がいないと、その姿を見て子どもは真似をされるといいますか、本
に関心を持って自分も読んでみよう、周りに本が無いのに、本を読もうという環境には
ならないと思うので、何とか図書館の利用率を高めていき、大人が本を家庭に持ち帰
っていったらいいと思います。

図書ボランティアもそうした意味で、各ネット館などで小中高生、ティーンズを対
象とした関わりなどを通して、本の紹介や読書に親しむ働きかけができていければと
も思います。

委員

赤ちゃんとか小さい子の活動が多いですが、なぜ一生懸命やっているかと言うと、
小さい時に親しんだお母さんと介して読んだ本の楽しい気持ちは、一時忘れてしま
うかもしれませんが、自分が親になった時にきっと思い出して、またそれを自分の子
どもにつなげると思います。長いスタンスでいくとつながるような気がします。

保育課

保育にパパママ先生というのを取り入れています。保護者の方全員ではなく、希望
して保育をしてみたいなという保護者の方を募って、子どもと関わってもらったり、
読み聞かせをしていただく場を設け、ご自分のお子さんと家庭でやっていただく絵本
を読むことと、大勢の子どもさんの中で本を読む体験をしていただいで、子どもって

こんな風ですよ、絵本が好きなんです、読んだ時に喜んでもらう実感を、お父さんやお母さんにしていただける活動を園で行っています。

そこで関心を持たれた方が、絵本のボランティアに行かれたり、自分のお子さんに絵本を読む体験を実感としてやっていただけるんじゃないかと、多くの園で取り入れています。

子ども家庭課

中学生と赤ちゃんのふれあい体験学習で、今年度も中学校と子ども家庭課との共催事業で、毎年4校で開催しています。3年間共催開催した学校でそれ以上やりたい学校は、自主開催ということで移行している最中です。

共催開催については、市でお金を出しますので、毎回こども図書室に来ていただいて読み聞かせの時間を15分程度ですが作っていますが、自主開催となりますと、学校側で経費を持っていただかなければならず、15分の読書の時間をばっさりと切られてしまう学校があるので、中学校側で組まれたプログラムの部分で読書の時間が消えてしまうことのないようにと思っています。

次世代育成課

放課後児童クラブを運営していますが、資料P1の2番「放課後児童クラブにおける団体貸出の充実」ということで、ここ最近、毎年団体貸出の数が増えていて、放課後クラブの先生もたくさん本を借りてクラブに置いて、その中で読み聞かせをしたり、自由な時間に個人一人で本を読むということは進んでいます。

クラブを利用する子は、基本的に保護者が両方働いている子がほとんどですので、家に帰ってから本で自分の時間を作って過ごせると、寂しくないこともあるかなと考えています。団体貸出が中央図書館でしかできないので、どうしても、足助、稲武の山間地域のクラブの先生はここまで来なければならず、交流館でも貸出ができたらと思います。

生涯学習課

27の中学校区ごとに交流館があり、指定管理で図書コーナーの整備をしてもらっています。その中で、例えば保見交流館では外国人が多いということで、外国語の専門コーナーを設置したり、地域ごとの特性を活かして図書コーナーを整備しています。

これをしてくださいという明確なお願いを交流館にしていけないので、現在のところほとんどの館が試行錯誤してやっていますが、何もしない交流館もあるので、そうしたところに声をかけていけたらと考えています。

学校教育課

本とこどもをつなぐというところで、学校図書館司書の名前が何回か出ていましたが、学校の指導によって回数が違います。

はつらつの授業で、学校がぜひ司書と呼んでいただければ、週に2日とか3日とかで司書を入れている学校もあります。

もっと必要とされる司書を目指して、司書研修を年8回やっていますが、そちらを活用しながら司書に力をつけてもらいたいと思っていますし、配置が増えるよう働きかけをしていきたいと思っています。

他、意見なし。

6 閉会

平成26年2月 作成

この会議録は、協議の内容と相違ないことを証するため、ここに署名する

豊田市子ども読書活動推進協議会

会 長

副会長